

基本方針 健康と癒しのまちをアピールする 嬉野の新たなスタートポイント

駅前だけではなく、嬉野のまち全体に波及効果を生む拠点となるために、嬉野への注目度を高める取り組み（機運醸成）、地域の人材や事業を育てるしくみ、チャレンジできる実験的な場をつくり、新たな魅力やビジネスを生み出し、常設化・日常化していくプロセスづくりに取り組んでいきます。

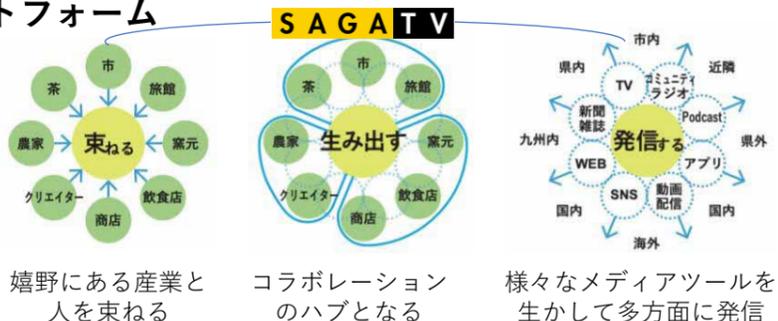
プロセス 段階的な拡張と育成。更新し続ける駅前づくり

基本方針を実現させていくためには、はじめにすべてのゾーンを開発してしまうのではなく、**地域の期待値、人材・事業の成長に合わせて、段階的につくっていく、更新されていくことが重要**です。



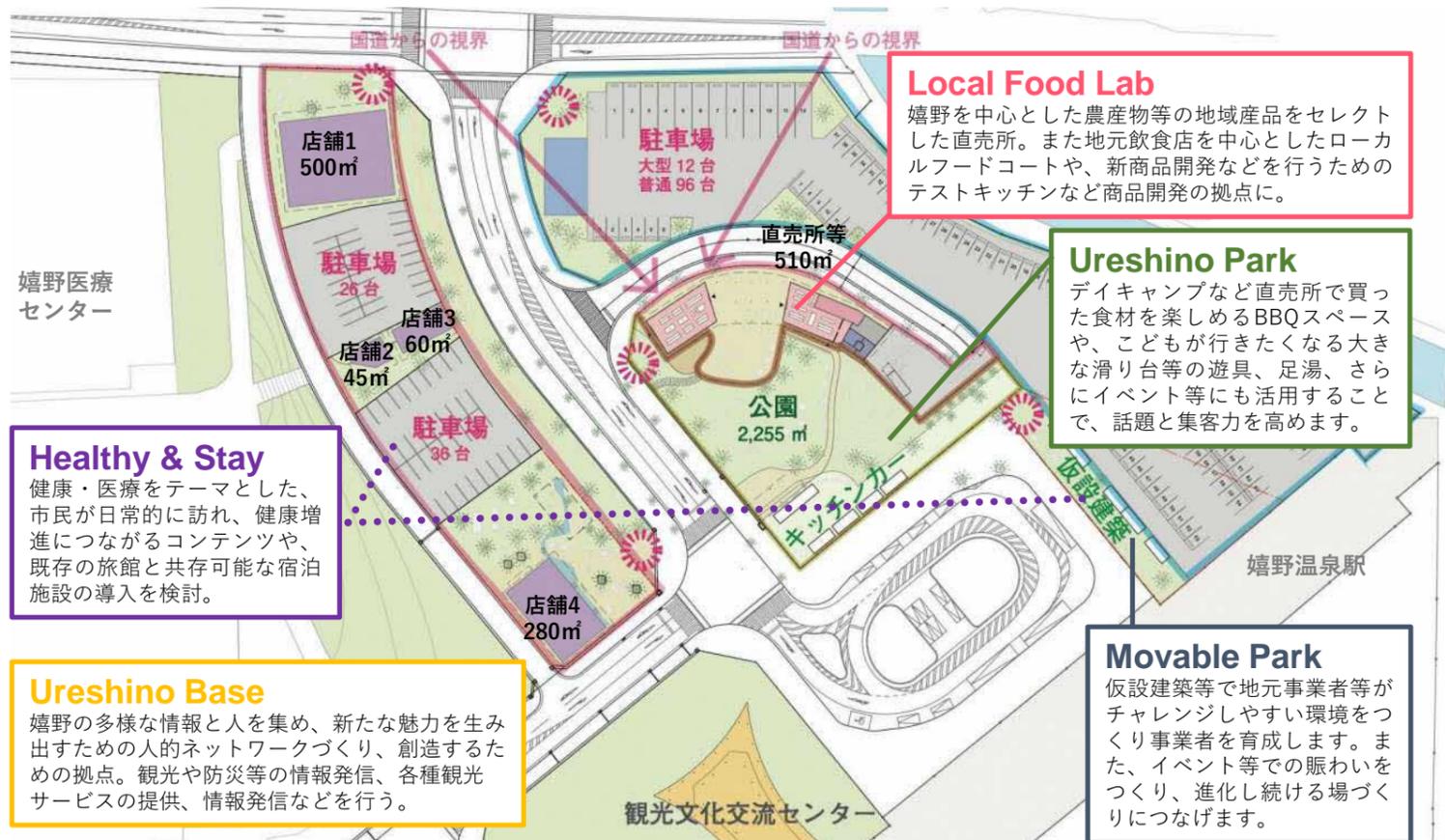
役割と機能 地域のクリエイティブプラットフォーム

すでにある産業や地域性を生かし新たな魅力をつくるためには、既存の枠を超えた**コラボレーション**を生み出していく必要があります。サガテレビG独自のネットワークと中立的な立場で、創造・発信・体験の機能を備えた**地域のクリエイティブプラットフォーム**として醸成します。リアルとデジタル両面のクリエイティブを創出。人材育成にも力を入れ、**束ねる・生み出す・発信する**役割を担っていきます。



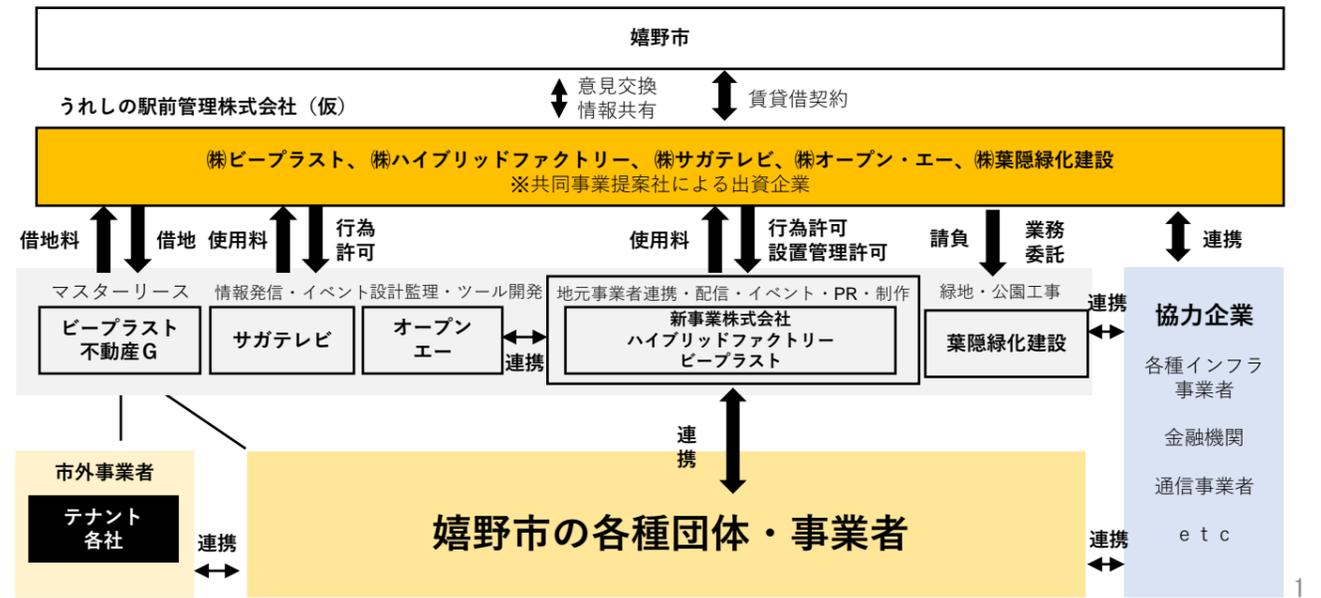
コンセプト Ureshino Antena 嬉野の未来を育み、創造し、発信する魅力創造拠点

公民連携を基礎とし、公共が整備する公園や観光交流センター等と民間事業者が整備する各施設で相乗効果を生み出します。公園とLocal Food Lab（直売所等）を集客・賑わいの核として、テーマの異なる5つのゾーンを設定。各ゾーンの回遊性を高めるとともに、「**創造→発信→体験**」のサイクルを増幅させます。地域資源（産業・人）を生かして新たな魅力を創造し、公園を活用したイベントやメディアで発信。そして地域住民や観光客がそれらを体験でき、さらにまち全体へ波及させるしくみを提案します。



事業・運営体制・地域貢献 オール嬉野で地域に新たな活力を創出

嬉野のまちづくりにおける最大のポイントは「地域資源を活用してビジネスに繋げる」という仕組みをつくることです。地域資源を「売れる商品・サービス」に転換するプロデュースの力と、「開発した商品を市場で売り抜く」営業力を提供することで、地元事業者の「稼ぐ力」を支援します。



すべての名称は予定であり、今後、協議の上で決定していきます。